

感動の仮装行列

高校生レポート 岡山県立岡山朝日高等学校 朝日祭(体育祭)

完璧の出来に笑顔

朝日高校の体育祭では、3年生が仮装行列、2年生が応援合戦でダンス、1年生がそれぞれのブロックの看板作りをする。夏休みが明けてから体育祭まで約2週間。練習ができるのは始業前と放課後しかない。本当に限られた時間の中でどのクラスも一致団結し、完璧に作品を仕上げた。

3年生は受験を控えているので、連日の練習はきついものがあったはずだ。けれどその「きつさ」がクラス一丸となるきっかけをつくり、観客に大きな感動を与えた。

仮装行列とは小さなミュージカル、パレードのようなものだ。これはほかの学校にはない、面白い競技だと思う。不思議の国のアリスや塔の上のラプンツェル、イギリスのウィリアム王子の結婚式など、さまざまなストーリーを自分たちなりにアレンジし、衣装にも、大道具にも、音楽にも、全てに凝って作品を作り上げた。特に大道具は、体育祭のためだけに作られたのが惜しまれるべきだった。日に日に完成へ近づく仮装行列の練習姿を見て、胸を躍らせなかった者はいないだろう。学校全体が体育祭という非日常に包まれていた。



仮装行列は体育祭の目玉種目。完成度の高さに、観客から惜しみない拍手が送られた。9月11日、岡山朝日高校で(写真は学校提供)

迎えた本番、どのブロックの仮装行列も素晴らしかった。観客から惜しみない拍手が送られた。退場門をくぐり抜けたときの先輩方の「やりきった」笑顔、私は決して忘れない。

(生徒会執行部2年、松本沙織)



女子6人でつくった

チャリティーライブ

震災で被災した中高生支援のためのチャリティーライブを高校生が企画し、9月19日、東京・渋谷で開催した。収益は全額、宮城・石巻の施設に寄付される。

企画したのは、東京、神奈川の高校に通う3年生の女子6人。NPO法人プラストビートが提供する音楽会社経営プログラムに参加した。NPOのスタッフがアドバイスをしてくれるが、資金の支援はなく、企画や集客などはすべて自分たちで進めた。

社長となった青柳萌美さんが音楽会社「ジェットコースター」を立ち上げたのは今年5月。起業や社会貢献に引かれてプログラムを知った6人が参加。週1、2回のミーティングを重ねて会社の方針やライブの中身を決めていった。

会社の理念は「前に進もうという気持ちを大切に」と決めた。「毎日楽しいこともあるけれど、将来への不安もあるのが高校生。皆が明日も頑張ろうと思えるライ



ブにしたかった」(柴田綾乃さん) 出演するアーティストの選定と交渉、集客のための広報、パンフレットの作成など6人で分担し

て仕事を進める。高校生バンド1組を含め、アーティスト4組が出演料無しで引き受けてくれた。ライブ会場も費用を安くして協力し

ライブ終了後、「社員」の高校生6人(前列、出演者、支援してくれた人たち。「かかわってくれた全員がいい人。みんなのおかげで成功できた」(千葉恵さん)=写真は「ジェットコースター」提供

てくれた。直前は眠る時間もない日が続いた。

当日、高校生、社会人ら102人が来場した。収益の全額に当日の募金をあわせ、8万円以上を石巻で中高生を支援している施設「ほっとスペース」に寄付することになった。「寄付が集まり、お客さんも喜んでくれた。やり切りました」(廣川那佳さん)。青柳さんは「一生懸命やれば、共感してくれた人が助けてくれ、いいものができるんだと知りました。まずはお金を送り、3月に6人全員が自費で石巻を訪ねるつもりだ。(西健太郎)

日本橋 目指し 強歩

埼玉・私立霞ヶ関高等学校

同校生徒が学校のある埼玉・川越から東京・日本橋まで歩く行事「目指せ、日本橋!」が10月9日、開かれた。43キロを4区間に



日本橋に無事ゴール。全員、そろいのTシャツを着て参加した

分けて、参加した有志生徒100人あまりが各区間を分担し、たすきをつないだ。

今年で4回目の開催。同校は通信制のため生徒全員が教室で一緒に学ぶことは少ない。全員で一つの目標を実現しようと、この行事を始めた。

最後の2キロは4グループが合流し、全員でゴールイン。佐藤海太君(3年)は「みんなでまとまって参加できて楽しい。疲れはありません」と振り返った。

第... コミ... とま... 図書... 催な... ほ... 馬... 民... 報... 空... 渡... 石... 井... 年... 等... 塩... 田... マ... 積... 藤... 島... 原... ポラ...

2012年、学園創立100周年 伝統の少人数教育で、豊かな教養と人間性を育む

IT分野の人財を育 総合サービス企業、株式会社7